



SAGAMI

No.1 Noodle Restaurant Company

証券コード:9900

味家
りん

第53期 報告書 | 2022年4月1日~2023年3月31日





トップインタビュー

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。第53期（2022年4月1日～3月31日）のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な資源価格の高騰や地政学的リスクによるサプライチェーンの混乱、及び為替相場の急激な円安進行により、エネルギーや各種仕入れなど、あらゆる品目における価格上昇が、国民生活・事業活動に大きな影響を及ぼしました。また、感染症の影響としては、「まん延防止等重点措置」が2022年3月に全面解除された後、一時的な再拡大の影響を受けました。その一方、政府による感染抑制と、全国旅行支援をはじめとした経済活動の両立策により、消費マインドの改善と人流に回復が見られました。

外食産業においては、行動制限解除後、一時的に感染症第7波・第8波の影響はあったものの、徐々に人流が回復したことに加え、全国旅行支援や入国制限の緩和を背景としたサービス消費、及びインバウンド消費の回復を主因として、コロナ禍に見られた外食控えの傾向が減少してまいりました。その一方で、食材の仕入価格や人件費、光熱費、物流費等あらゆるコストが上昇するなど厳しい経営環境が続いております。

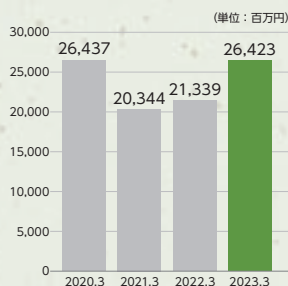
このような環境のもと当社グループは、お客様及び従業員の安全と健康を守る観点から、感染症拡大の予防対策を最優先に取り組んでまいりました。また、お客様起点の視座を堅持しつつ、中期経営計画『Challenge to “300”』に基づき、「持続可能性」の追求と「再成長」の具現化をテーマとして、基本的価値であるおいしさ・おもてなしの向上及び「食と健康」の追求に継続的に取り組んでまいりました。引き続き、お客様のニーズに対応すべく、テイクアウト商品の拡充やデリバリー対応店舗及びモーニング営業実施店舗の拡大、冷凍自動販売機の設置など、機動的に販売施策を継続し、お客様への提供価値及び企業価値の向上に努めてまいります。

本紙では、その間の取り組み内容をご紹介しますので、ご覧いただければ幸いです。

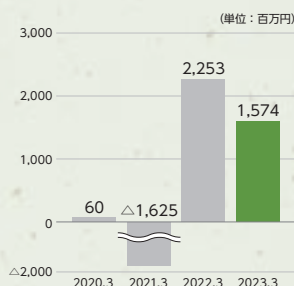


2023年6月
代表取締役社長 **大西 尚真**

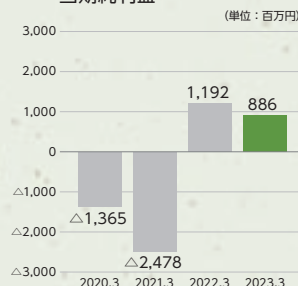
✓ 連結売上高



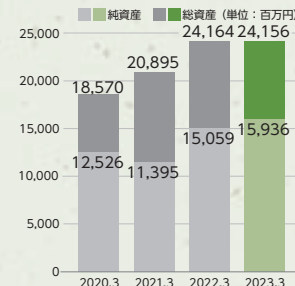
✓ 連結経常利益



✓ 親会社株主に帰属する当期純利益



✓ 連結純資産・連結総資産



より良き社会・より良きサガミを次世代に

【Q1】社長就任にあたっての率直な感想をお聞かせください。

2023年4月1日より、株式会社サガミホールディングス代表取締役社長に就任いたしました大西 尚真（おにし ひさし）でございます。

前代表より大きなバトンを受け継ぎ、大変な重圧と責任を感じ、身の震えるような日々でございますが、ステークホルダーの皆様につながる取り組みを経営の基本として、「経営理念」の具現化のために精進してまいります。

新型コロナウイルス感染症（以後、「感染症」といいます）に苦しめられた3年間で、私たち「外食産業」は日々、それぞれのシーンに合わせ、わざわざ来店していただくことで出来立ての「おいしい料理」と笑顔ある「おもてなし」を提供してお客様に喜んで（感動）いただくことを「使命」としている以上、その「使命」を更に“しんか”（真価・進化・深化・新化など）させるために強い意志で臨みたいと考えています。

業績と取り組み

【Q2】当期の業績及び取り組みについてお聞かせください。

当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績は以下の通りとなりました。

	実績値	計画値	前年実績値
売上高	26,423百万円	25,500百万円	21,339百万円
営業損益	910百万円	750百万円	△620百万円
経常利益	1,574百万円	1,430百万円	2,253百万円
親会社株主に 帰属する純利益	886百万円	980百万円	1,192百万円

感染症の影響が残りながらも、当期における売上高、営業利益は昨年に比べ、大きく回復いたしました。3年ぶりとなる感染症に伴う制限のない状況で営業をおこなうことができたこと及びコロナ禍における事業基盤の強化や成長基盤の再構築に取り組んできた成果として、当期の売上高は計画値に比べ923百万円





上回り、営業損益におきまして160百万円上回る結果となりました。経常利益につきましては、営業時間短縮に伴う自治体からの助成金収入の減少により、前年実績を下回りましたが、計画値を上回る結果となりました。親会社株主に帰属する純利益につきましては、前年実績及び計画値を下回る結果となりました。

当社は、コロナ禍からの脱却による人流及び消費マインドの回復、その一方であらゆるコスト増加など激変する市場環境に対応しつつ安定的な経営基盤の構築に努めてまいりました。

【Q3】店舗運営に関する各種取り組みや今後の出店計画、成長戦略についてお聞かせください。

当社グループではコロナ禍における厳しい環境下においても、新規出店や業態変更は止めず、当連結会計年度においては、国内において、愛知県半田市に主力業態である「和食麺処サガミ 半田インター店」、京都府木津川市に「和食麺処サガミ 木津川城山台店」、愛知県長久手市に「和食麺処サガミ 長久手店」を出店いたしました。また、岐阜県岐阜市にセルフそば業態「二代目長助 岐阜岩滝店」、愛知県稲沢市に「二代目長助 稲沢店」、千葉県野田市に「二代目長助 野田店」を出店し、セルフそば業態は6店となりました。また、海外においては、イタリア「サガミ ベリンザーゴ・ロンバルド店」をFC店舗として出店し、イタリアでは6店舗となりました。業態変更については、愛知県西春日井郡豊山町の「あいそ家 豊山店」を「和食麺処サガミ 豊山店」に、愛知県一宮市の「かつたに一宮尾西店」を「どんどん庵 一宮尾西店」として出店

いたしました。

2022年度に出店いたしました新規出店店舗につきましては、想定した売上を上回り、好調に推移しております。また、セルフそば業態「二代目長助」の関東への進出を遂げ、今後更に展開していく予定であります。

コロナ禍では大人数による外食や宴席などが控えられる中、和食麺処サガミでは、ご家族単位での「ハレの場」の記憶に残るおもてなし演出として、お食い初め（百日祝い）商品を提供してまいりました。感染状況が落ち着きを見せ始めた頃より、お客様より支持いただいております。また、和食麺処サガミでは、お客様の行動変化により営業時間を朝の時間帯へ移行し、モーニング実施店舗の拡大をいたしました。さらに、2022年度グループ全体では、新規出店や業態変更にも積極的に取り組んでまいりました。

成長戦略については、コロナ禍以前から事業基盤の強化や成長基盤の再構築など、既存店の改革に努めてまいりました。

2023年度は5月に発表いたしました新中期経営計画に基づき、引き続き基本戦略である『持続可能性の追求』と『再成長の実現』を進め、企業価値の向上に努めてまいります。

『持続可能性の追求』においては、当社にとっての基本的価値である、おいしさ・おもてなしの向上は永続的に取り組み、「こころとからだ」の健康を目指した、“食による提供価値”を追求してまいります。また、喫緊の課題である人材の確保については、勤務体系の多様化やグローバル人材の採用を推進することにより、「やりがい」と「生きがい」を両軸とした更なる従業員満足度の向上に努めてまいります。



『再成長の実現』においては、社会・経済状況の変化を見据え、「和食麺処サガミ」「味の民芸」などの既存事業のポジショニング再定義と見直しを行い、セルフそば業態の更なる拡大も進めてまいります。また、コロナ禍において進めてまいりました「宅配」や「持ち帰り」についても商品の充実化を継続して取り組んでまいります。

【Q4】改めて株主の皆様メッセージを願います。

我々「外食産業」は日々それぞれのシーンに合わせ、「美味しい料理」と笑顔ある「おもてなし」を提供してお客様に喜んで（感動）頂くことを「使命」としています。私は、創業者から「サガミは美味しくないといけない」店舗は「地域の皆様のおかげ」との教えを受けたことを今でも覚えています。この言葉は、時代は変われど不変であり、サガミは勿論、味の民芸や他の業態を担当した時もこの言葉から“ぶれる”ことなく今に至っています。これまで引き継がれてきたバトンをいかに大きくできるか、いかに成長させられるかが、私の使命であると考えております。

そのためには、2025年度を最終年度とする新中期経営計画の目標を達成すべく、お客様への提供価値を向上させつつ、人材教育やおもてなしを除く業務のスマート化を推進することによる効率化、新規出店や新規事業の開拓を行い、企業価値の向上に取り組んでまいります。

また、2023年度には、会社の組織として「サステナビリティ推進室」を設け、GHG排出量の削減や情報開示、そして「Sチャレンジ」と銘打った自社独自のSDGs17項目への取り組み等、積極的かつ具体的な取り組みを推進しております。

「より良きサガミ・より良き未来」をモットーとして、当社の改革はもとより、企業の使命として「社会の持続可能性」追求への取り組みを推進してまいります。

株主の皆様におかれましては今後ともご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

以上



経営新体制について

コロナ禍を契機に継続的に取り組んできた、改善・改革を更に推し進め、経営陣の若返りによる企業の活性化、企業価値の向上及び当社グループの持続的な発展を図ることを目的とし、2023年4月1日に代表取締役社長に大西尚真、取締役常務執行役員に鷺津年春が就任いたしました。

また、2023年6月28日に開催いたしました第53期定時株主総会において大西、鷺津とともに新任取締役として三ツ口質、中島康文、川口奈央の3名が株主の皆さまに承認され、新体制がスタートいたしました。

新体制では、大西の下、「私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～」という経営理念の具現化を、役員含め従業員一同で進めてまいります。



新規出店情報

和食麺処サガミ 新規出店のお知らせ

2022年12月16日に京都府木津川市に和食麺処サガミ木津川城山台を出店いたしました。同店は、京都府の最南部に位置し、府内4店舗目となります。奈良県中心地からのアクセスも良く、多くのお客様にご利用いただいております。近くにお立ち寄りの際は、是非ご来店ください。

木津川城山台店

【住 所】 京都府木津川市城山台13-6

【電話番号】 0774-72-5611

【電話番号】 11時～21時（オーダーストップ20時45分）



2023年1月27日に愛知県長久手市に和食麵処サガミ
長久手店を出店いたしました。愛知県ではサガミ業態
49店舗目となり、モーニングの時間帯より近隣の
多くの皆様にご利用いただいております。近くに
お立ち寄りの際は、是非ご来店ください。

長久手店

【住 所】愛知県長久手市岩作下島101番地1
【電話番号】0561-61-2133
【電話番号】8時～22時（オーダーストップ21時30分）



セルフそば業態 二代目長助出店のお知らせ

2023年3月25日に愛知県稲沢市に和食麵処サガミ、どんどん庵に続く市内3店舗目となるセルフそば業態二代目長助 稲沢店を、2023年3月31日に千葉県野田市に関東初出店となるセルフそば業態二代目長助 野田店を出店いたしました。セルフそば業態はこれで6店舗（二代目長助5店舗）となり、更なる店舗展開を進めてまいります。

本業態は、当社グループの強みでもある「蕎麦」に拘り、味と風味を徹底追及した十割そばをリーズナブルな価格で提供しております。近くにお立ち寄りの際は、是非ご来店ください。



二代目長助稲沢店

【住 所】愛知県稲沢市横地5丁目4
【電話番号】0587-24-2167



二代目長助野田店

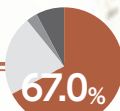
【住 所】千葉県野田市横内54-1
【電話番号】0471-57-1711



部門別外食事業の状況

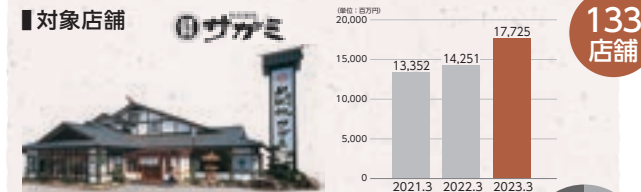
和食麺処サガミ部門

17,725 百万円



和食麺処サガミ部門では、全店販売促進企画として、「料理フェア」を9回実施いたしました。
また、4月と10月に「サガミ公式Twitterフォロー&リツイートキャンペーン」を各1回、4月に「ゴールデンウィーククーポン配布企画」、6月に「父の日企画」、7月に「夏の大感謝祭」、9月に「シルバークウワクーポン配布企画」、11月に「冬の大感謝祭」、12月に「ゆく年くる年クーポン配布企画」、1月に「JAF plusクーポン配布企画」、2月に「恵方巻・はまぐり料理のクーポン付き告知チラシ配布企画」、3月に「創業感謝祭」を各1回実施いたしました。一部地域販売促進企画として、6月に「御園座ご招待キャンペーン」、10月と11月に「愛知セントラル交響楽団」との企画として公演会場でブランド訴求チラシの配布を各1回、石川県輪島市とコラボレーションし「輪島天然ふぐ天みそ煮込」を限定店舗で販売、2月に愛知県の店舗限定にて、選挙投票後に受け取る「投票済証明書」の提示でお会計より10%OFFする「センキョ割キャンペーン」を実施いたしました。その他の取り組みとして、9月に和食麺処サガミ公式アプリをリリースいたしました。

「ちょっといい日をもっといい日に」をテーマとした、ハレの日施策の強化に取り組みました。
特別な日のおもてなしの取り組みとして百日祝い料理「おいしい初め膳」の販売を全店舗で実施いたしました。更に一部店舗においては一歳の祝いセット（一升米）として祝い膳を販売いたしました。
店舗関係では、「和食麺処サガミ半田インター店」(9月)、「和食麺処サガミ木津川城山台店」(12月)、「和食麺処サガミ長久手店」(1月)、「和食麺処サガミ豊山店」(3月)を出店いたしました。その一方、「和食麺処サガミ西大津店」(5月)、「和食麺処サガミ藤枝店」(8月)、「和食麺処サガミ加木屋店」(10月)を閉鎖いたしました。



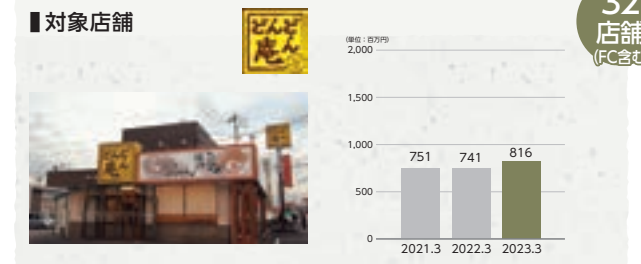
どんどん庵部門

816 百万円



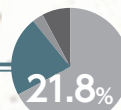
どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を9回実施いたしました。また、4月に「麺大盛無料キャンペーン」、5月、10月及び2月に「GO!どんどん庵クーポンキャンペーン」を各1回実施いたしました。

店舗関係では、「かつたに一宮尾西店」を業態転換し、「どんどん庵一宮尾西店」(11月)を出店いたしました。その一方、「どんどん庵飛鳥店」(12月)を閉鎖いたしました。



味の民芸部門

5,782 百万円



味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を7回、「母の日フェア」、「父の日フェア」、「手延べうどん食べ放題企画」、「敬老の日フェア」、「和食の日フェア」、「年末年始フェア」、「節分・恵方巻フェア」を各1回実施いたしました。

また、「夏の大感謝祭」、「秋の新メニューフェア」、「春のごちそう祭り」を各1回実施し、「店内飲食およびテイクアウト10%引きキャンペーン」を1回実施いたしました。

また、従来の携帯会員から、利用者層が広く利便性の高い「LINE」での販促活動に切り替え、「LINE公式アカウント」を全店で開設いたしました。定期的にフェアメニューの告知や、お得なクーポンを配信し、2023年3月現在で全店のお友達数は13万人を超えました。

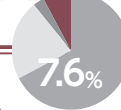
店舗関係では、「味の民芸西国分寺店」(8月)を閉鎖いたしました。

■対象店舗



その他の部門

2,015 百万円



その他の部門では、団樂食堂「あいそ家」において、「料理フェア」を12回実施いたしました。また、7月より3店舗(天道店・大樹寺店・東郷店)でモーニング営業を開始いたしました。大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「料理フェア」を11回実施いたしました。

国内店舗関係では、岐阜県岐阜市に「十割そば二代目長助岐阜岩滝店」(5月)、愛知県稲沢市に「十割そば二代目長助稲沢店」(3月)、千葉県野田市に「十割そば二代目長助野田店」(3月)を出店いたしました。

その一方、「ごちたく味の民芸練馬平和台店」(10月)、「ぶぶが西台店」(11月)、「ごちたくサガミ守山店」(12月)、「とと蔵湘南台店」(12月)、「JINJIN 佐野店」(1月)を閉鎖したほか、「かつたに一宮尾西店」(11月)、「あいそ家豊山店」(2月)を業態転換に伴い閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、イタリア・ミラノ市郊外に「SAGAMI ペリンザーゴ・ロンバルド店」(4月)をFCで出店いたしました。その一方、イタリア「SAGAMI シエナ店」(8月)を閉鎖いたしました。

■主な対象店舗



店舗ネットワーク

(2023年3月31日現在)

当社グループは、「和食麺処 サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どん
どん庵」「水山」「製麺大学」「びんむぎ」「JINJIN」「長助」「二代目
長助」「DelaPASTA Kitchen」「ぶぶか」「SAGAMI」を展開し
ております。また海外はベトナムのホーチミン、イタリアのミラノ、
モデナ、ボローニャ、パルマ、レッジョ・エミリア、ペリンザーゴ・
ロンバルドに展開しております。



合計
250
店舗



サステナビリティ推進室設置

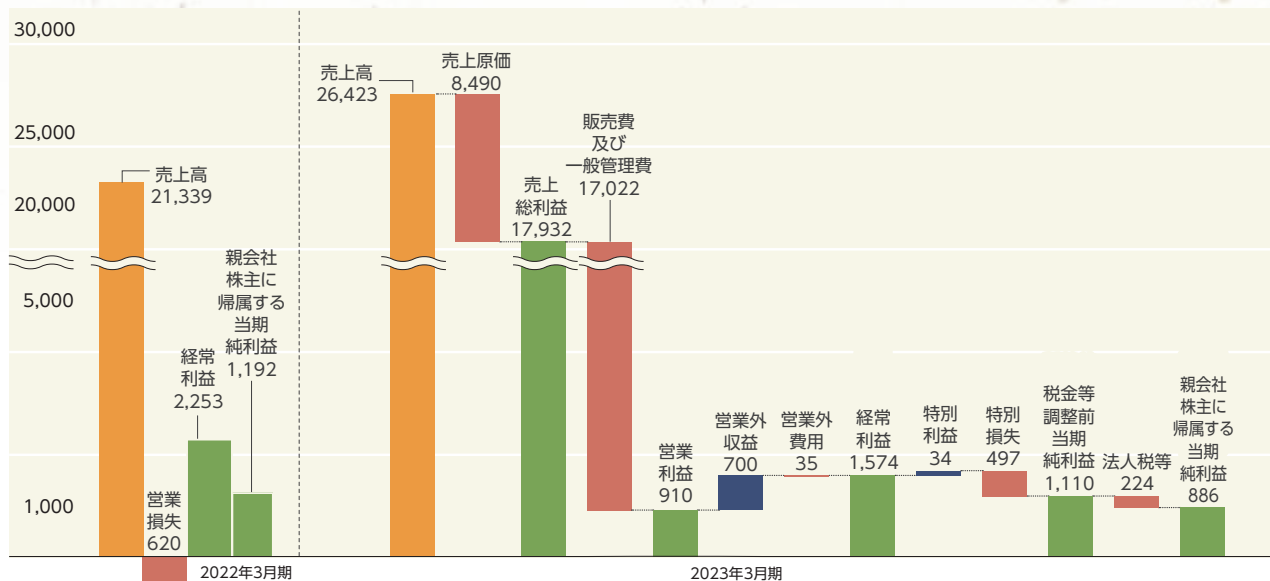
従来「CSR活動」として行ってきた活動を発展させ、ESG（環境・社会・ガバナンス）の3つの観点から、長期的な視野を持って持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいりましたが、サステナビリティについての考え方を推進するため、新たに専門組織となるサステナビリティ推進室を設置し、取り組みを更に強化いたします。



連結財務諸表（要約）

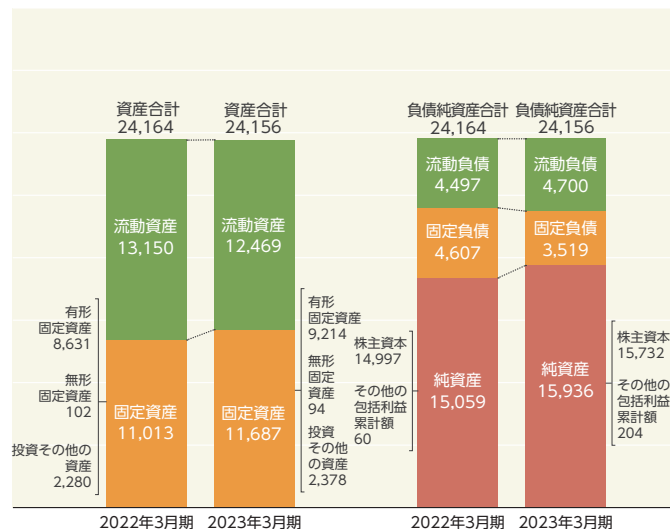
連結損益計算書

（単位：百万円）



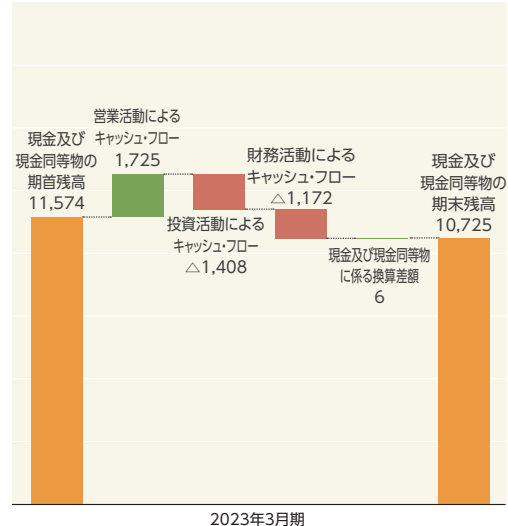
連結貸借対照表

（単位：百万円）



連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）





■会社概要

商 号	株式会社サガミホールディングス
設 立 年 月 日	1970年(昭和45年)3月4日
資 本 金	9,090,653,149円
従 業 員 数	539名
本 社	名古屋市守山区八剣二丁目118番地
店 舗 数	250店舗
グループ企業	サガミレストランズ株式会社 味の民芸フードサービス株式会社 株式会社サガミマネジメントサポート 株式会社サガミフード サガミインターナショナル株式会社 SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. VIETNAM SAGAMI JOINT STOCK COMPANY

■役 員 (2023年6月28日現在)

代表取締役社長	大 西 尚 真
取締役常務執行役員	鷺 津 年 春
取締役執行役員	三ツ口 賢
取締役執行役員	中 島 康 文
取締役執行役員	川 口 奈 央
取 締 役	川 瀬 千 賀 子 (社外)
取 締 役	有 馬 祥 子 (社外)
取締役常勤監査等委員	長谷川 喜 昭
取締役監査等委員	神 谷 俊 一 (社外)
取締役監査等委員	村 上 貴 子 (社外)

(注) 川瀬千賀子、有馬祥子、神谷俊一および村上貴子の各氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。

■株式情報

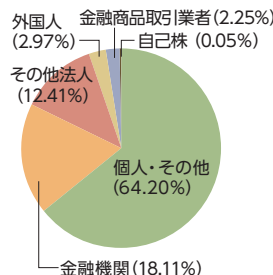
1 発行可能株式総数	100,000,000株
2 発行済株式総数	30,301,784株
3 株主数	20,685名
4 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,956	9.76
昭和産業株式会社	1,194	3.94
アサヒビール株式会社	1,032	3.40
株式会社愛知銀行	923	3.05
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	664	2.19
株式会社昭和	433	1.43
サガミ共栄会	384	1.27
大嶋 つき子	375	1.23
岩月 康之	249	0.82
サガミグループ従業員持株会	200	0.66
合 計	8,414	27.78

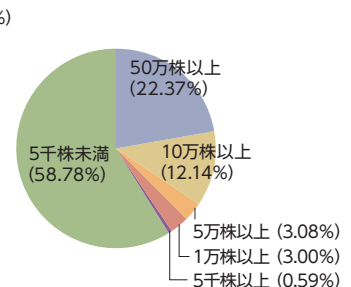
(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は、自己株式として17,762株を所有しております。
3. 当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が130,700株を所有しておりますが、ここでは上記自己株式に含めておりません。

5 株式分布状況

①所有者別分布



②所有株式数別分布



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告
定時株主総会	毎年6月下旬		事故その他やむを得ない事由によって
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日		電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ 公告いたします。	上場金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場
		インターネット ホームページ	https://www.sagami-holdings.co.jp/



株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
及び電話照会先 電話 0120-782-031 (通話料無料)

株主優待のご案内

・1,000株以上保有の株主様※1

年間3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券
(1万5千円を年2回)を贈呈

・500株以上1,000株未満保有の株主様※2

20%割引券を年間10枚(5枚を年2回)贈呈

・100株以上500株未満保有の株主様※2

20%割引券を年間4枚(2枚を年2回)贈呈

※1.1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「氷山」「製麺大学」「SAGAMI」「びんむぎ」「JINJIN」「Dela PASTA Kitchen」「ぶぶか」「長助」「二代目長助」にてご利用いただけます。

※2.1枚につき、割引上限金額は3,000円(税込)となります。株主優待券を含む他の券との併用はできません。ご飲食代金およびテイクアウト商品代金にご利用いただけます。「どんどん庵」「氷山」「製麺大学」「JINJIN」「Dela PASTA Kitchen」「びんむぎ」「ぶぶか」「長助」「二代目長助」においては、20%割引ではなく、お一人100円(税込)割引とさせていただきます、1枚で4名様までご利用いただけます。



【権利確定日】毎年3月31日、9月30日
【発送予定】毎年6月下旬、12月中旬

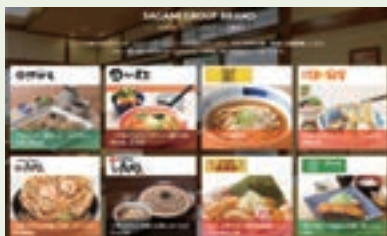


左記QRコードよりご利用店舗
をご確認いただけます。

ホームページのご案内

各業態の店舗情報やメニュー情報をはじめ、当社グループに関する様々な情報を発信しております。ぜひご覧ください。

<https://www.sagami-holdings.co.jp/>



株式会社サガミホールディングス

〒463-8535 名古屋守山区八剣二丁目118番地
電話 052-737-6000

